



2014年度 中間報告書

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)



クラッチの明日を切り拓く、 世界のリーディングカンパニー、F.C.C.

二輪車用クラッチ
世界シェア

No.1

摩擦材開発からの
「一貫生産体制」

海外売上高比率

85.6%

独自の生産技術
「セグメント方式」

海外生産拠点

10ヶ国

グローバルな
提案・対応力

世界基準の
品質管理・環境対策

独創的なアイデアと卓越した技術力、
他に類を見ない生産設備と
妥協のないクオリティコントロール。
その総合力を日本から世界へと飛躍させ、
先進的な製品づくりをグローバルに展開しています。
リーディングカンパニーとして、次代を切り拓く
パイオニアとして、これからも進化を続けます。

ごあいさつ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。2014年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内自動車販売の低迷やタイの政情不安による影響等があったものの、主にインドやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が増加したことや北米において四輪車用クラッチの拡販が進展したことにより、売上高は73,881百万円(前年同期比4.2%増)となりました。利益面では、減価償却費や立上げ費用の増加に加え、国内生産拠点の再編に伴う減損損失を計上したことや前第2四半期連結累計期間は移転価格税制に関する税還付が計上されていたこともあり、営業利益は4,504百万円(前年同期比30.4%減)、経常利益は5,940百万円(前年同期比19.5%減)、四半期純利益は2,870百万円(前年同期比62.2%減)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり20円とさせていただきます。

今後の経営環境は、日本における駆け込み需要の反動や海外景気の先行きに不確実な要素もありますが、現在進めている第9次中期経営計画に掲げる重点施策を確実に実行し、グループの総合力を発揮して持続的な成長の基盤構築に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

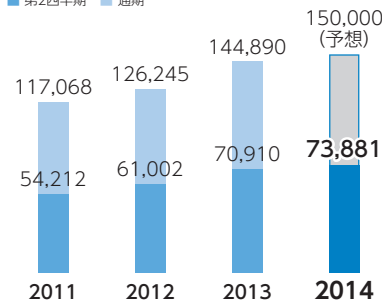
2014年11月



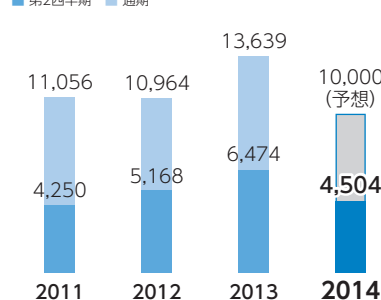
代表取締役社長

松田年真

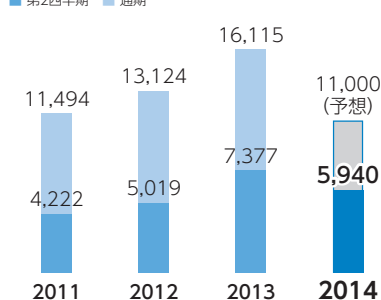
●売上高(百万円)
■第2四半期 ■通期



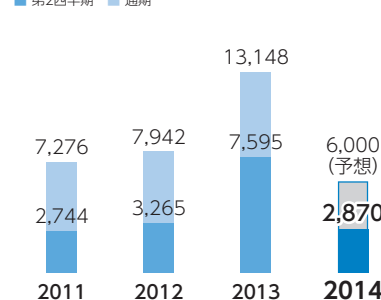
●営業利益(百万円)
■第2四半期 ■通期



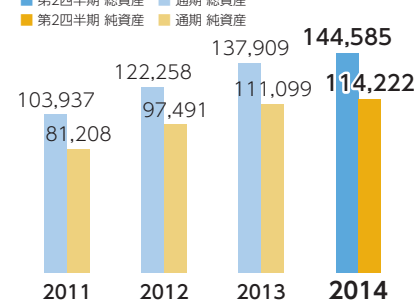
●経常利益(百万円)
■第2四半期 ■通期



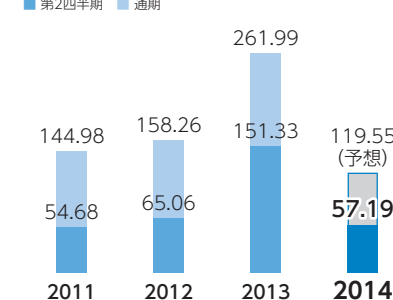
●四半期(当期)純利益(百万円)
■第2四半期 ■通期



●総資産/純資産(百万円)
■第2四半期 総資産 ■通期 総資産
■第2四半期 純資産 ■通期 純資産



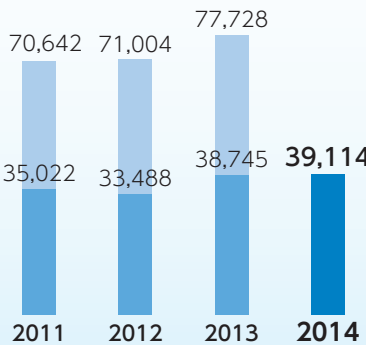
●1株当たり四半期(当期)純利益(円)
■第2四半期 ■通期



二輪車用クラッチ

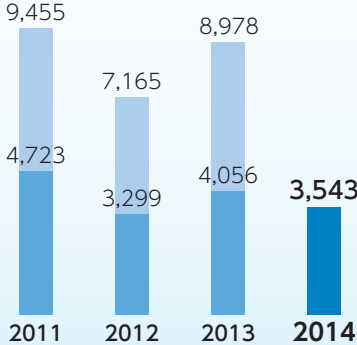
●売上高
39,114
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



●営業利益
3,543
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される遠心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。
※ATV: All Terrain Vehicle (バギー)

売上高構成比
52.9%

TOPICS

インド子会社の合併解消 100%子会社へ

1997年にRico Autoと折半出資でFCC RICOを設立し、順調に業容を拡大してきましたが、今般、合併先が所有する全株式を当社グループで取得しました。今後の成長が期待されるインド市場で経営の迅速化、効率化を図り、更なる競争力強化とプレゼンス拡大に努めます。

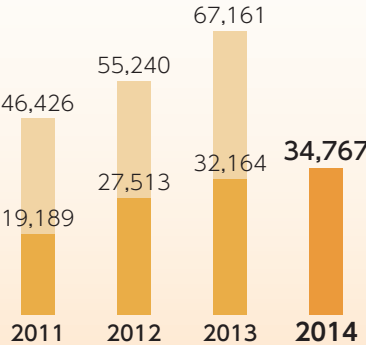
[FCC RICOの株主構成]

FCC	50%	➡ FCCグループ	100%
Rico Auto	50%		

四輪車用クラッチ

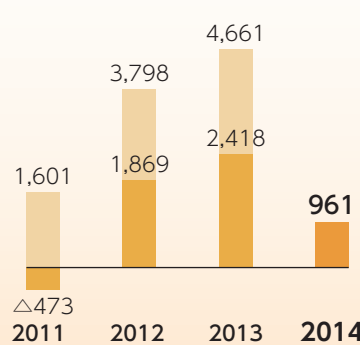
●売上高
34,767
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



●営業利益
961
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



製品情報

オートマチックトランスミッション(AT)用クラッチ、マニュアルトランスミッション(MT)用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。

売上高構成比
47.1%

メキシコ子会社 新工場竣工

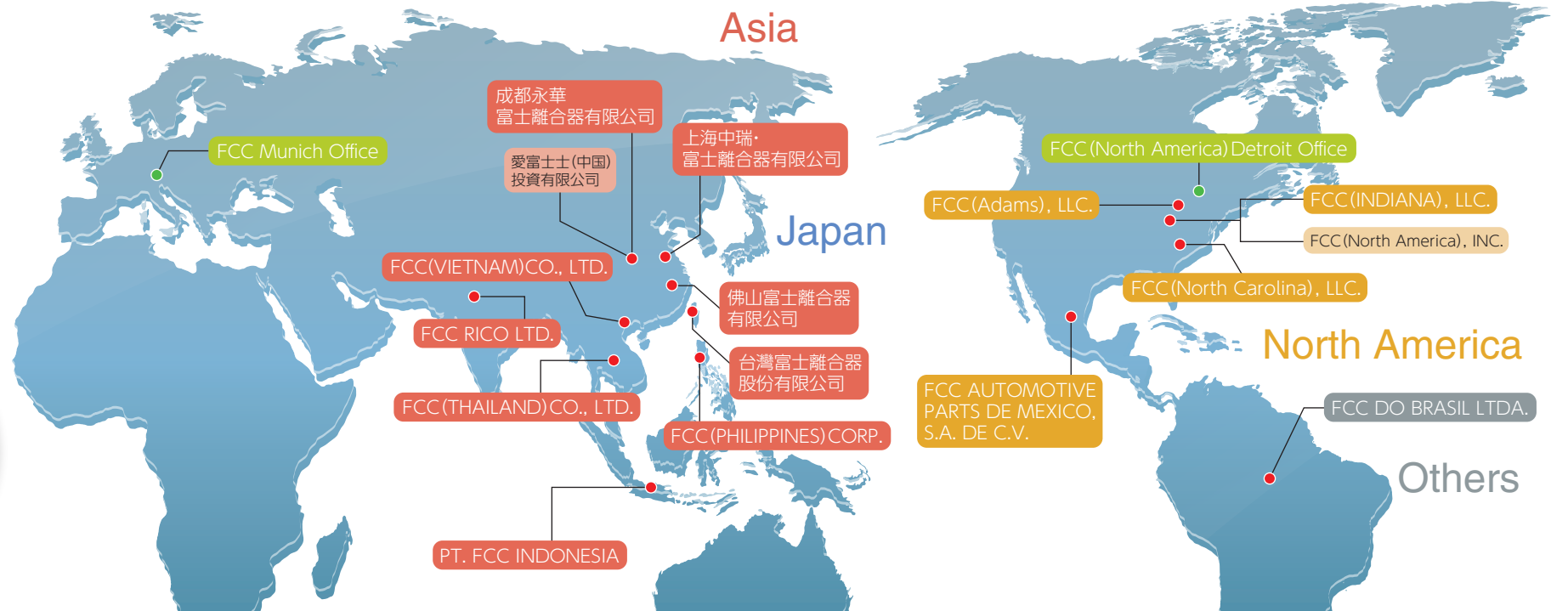
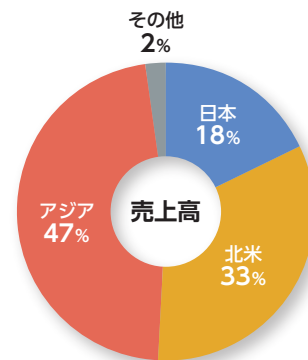
四輪車用クラッチの生産拠点として2013年6月に設立したメキシコ子会社の工場建屋が完成しました。2015年度からの量産開始に向けて立上げ準備を進めています。既存の北米拠点との相互補完体制を有効に活用しながら、競争力の高いモノづくりを実現していきます。



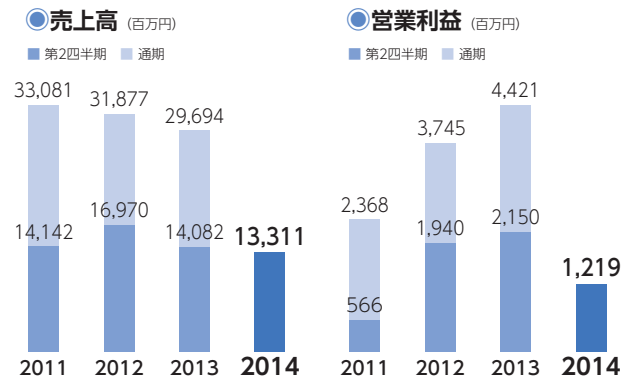
世界に羽ばたくF.C.C.のネットワーク

1988年、ジェイテックインコーポレイテッド※(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティ、ローコストな製品づくりを目指しています。これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術を高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

※ 現 FCC(INDIANA), LLC.

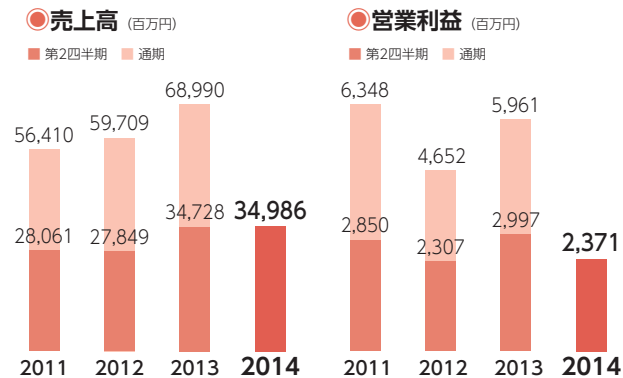


日本



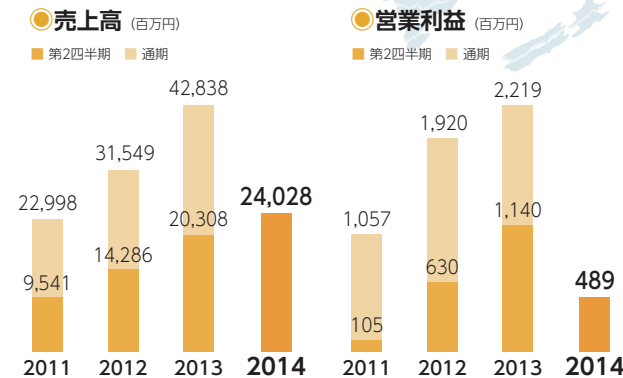
国内自動車販売の低迷や輸出用の四輪車用クラッチの販売が減少した影響等により、売上高は13,311百万円(前年同期比5.5%減)となりました。営業利益は販管費の増加等もあり1,219百万円(前年同期比43.3%減)となりました。

アジア



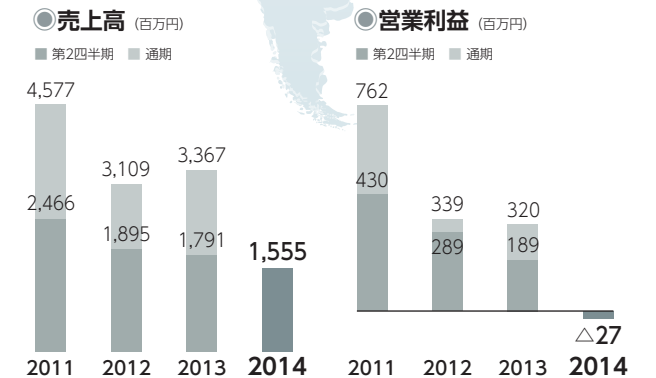
タイの政情不安やインドネシアルピア安に伴う為替換算による影響等があったものの、インドやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が順調に増加したこともあり、売上高は34,986百万円(前年同期比0.7%増)となりました。営業利益はタイの二輪車用クラッチの販売が減少したことやインドネシアルピア安の影響等により2,371百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

北米



ホンダグループのトランスミッションのCVT化による影響はあったものの、ホンダグループ以外の顧客への四輪車用クラッチの販売が順調に増加したことに加え、ドル高に伴う為替換算による影響等もあり、売上高は24,028百万円(前年同期比18.3%増)となりました。営業利益は固定資産の償却費や立上げ費用の増加等により489百万円(前年同期比57.0%減)となりました。

その他



ブラジルにおける二輪車販売の低迷に加え、リアル安等の影響もあり、売上高は1,555百万円(前年同期比13.1%減)となりました。営業損益は原材料の高騰による影響もあり27百万円の営業損失(前年同期は189百万円の営業利益)となりました。

●四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,280	18,461
受取手形及び売掛金	20,979	23,434
商品及び製品	2,826	2,863
仕掛品	3,196	3,193
原材料及び貯蔵品	11,841	13,125
その他	5,111	5,006
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	65,220	66,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,506	18,423
機械装置及び運搬具	25,656	29,049
工具、器具及び備品	1,877	2,192
土地	7,604	6,686
建設仮勘定	10,770	8,729
有形固定資産合計	60,416	65,080
無形固定資産		
のれん	481	344
その他	1,321	1,689
無形固定資産合計	1,802	2,033
投資その他の資産		
投資有価証券	7,780	8,596
退職給付に係る資産	108	119
その他	2,621	2,727
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	10,469	11,403
固定資産合計	72,688	78,517
資産合計	137,909	144,585

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,531	12,163
ファクタリング債務	2,583	2,519
短期借入金	－	2,189
未払法人税等	2,400	1,781
賞与引当金	1,582	1,639
その他	5,347	4,903
流動負債合計	21,444	25,197
固定負債		
退職給付に係る負債	1,229	1,320
その他	4,136	3,844
固定負債合計	5,365	5,165
負債合計	26,810	30,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,593
利益剰余金	96,898	98,817
自己株式	△3,407	△3,407
株主資本合計	102,232	104,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,658	3,904
為替換算調整勘定	△2,050	△1,003
退職給付に係る調整累計額	342	316
その他の包括利益累計額合計	1,950	3,217
少数株主持分	6,915	6,826
純資産合計	111,099	114,222
負債純資産合計	137,909	144,585

●四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日
売上高	70,910	73,881
売上原価	58,192	62,274
売上総利益	12,717	11,606
販売費及び一般管理費	6,242	7,102
営業利益	6,474	4,504
営業外収益	972	1,637
営業外費用	70	201
経常利益	7,377	5,940
特別利益	686	24
特別損失	80	1,042
税金等調整前四半期純利益	7,983	4,922
法人税等	2,276	1,657
法人税等還付税額	△1,346	－
法人税等合計	929	1,657
少数株主損益調整前四半期純利益	7,053	3,264
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△541	394
四半期純利益	7,595	2,870

●2014年度(2015年3月期)の連結業績予想

売上高	1,500億円(前期比 3.5%)
営業利益	100億円(前期比 △26.7%)
経常利益	110億円(前期比 △31.7%)
当期純利益	60億円(前期比 △54.4%)
1株当たり当期純利益	119.55円

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,256	6,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,915	△9,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,675	589
現金及び現金同等物に係る 換算差額	257	32
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△75	△2,639
現金及び現金同等物の期首残高	23,369	20,147
現金及び現金同等物の 四半期末残高	23,293	17,508

ホームページのご案内

http://www.fcc-net.co.jp/



TOPページ



IR情報

●株式の状況

2014年9月30日現在

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	17,302名
単元株式数	100株
証券コード	7296

●大株主(上位10名)

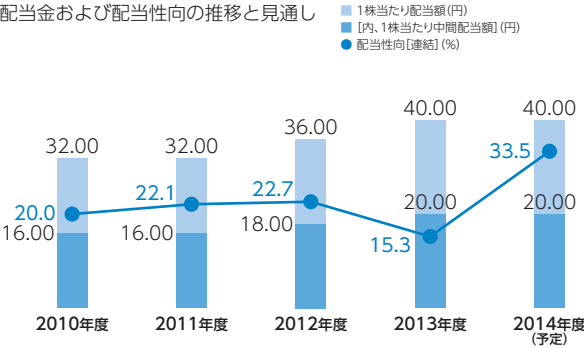
2014年9月30日現在

	持株数(千株)	持株比率(%)
1 本田技研工業株式会社	10,881	21.6
2 ビーエヌピー パリパセック サービス ルクセンブルグ ジャ スデック アパディーン グローバル クライアント アセット	3,250	6.4
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,508	4.9
4 ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	2,147	4.2
5 株式会社ワイ・エー	2,019	4.0
6 山本佳英	1,558	3.1
7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,368	2.7
8 みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
9 山本恵以	1,300	2.5
10 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	1,053	2.0

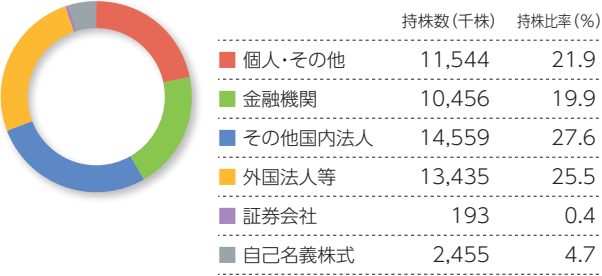
(注)1. 当社は自己株式を2,455,222株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●配当政策および配当金

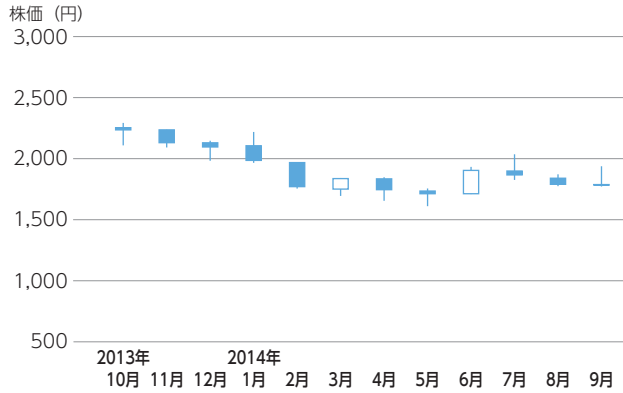
配当金および配当性向の推移と見通し



●所有者別状況



●株価の推移



【配当政策】

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、新たな成長のための投資による企業価値の向上の追求とあわせて、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。

【配当金】

本年10月28日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり20円とさせていただきますことになりました。

●会社概要

商 号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本 社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長 松田年真
設 立	1939年(昭和14年)6月
従 業 員 数	7,337名(連結) 2014年9月30日現在
事 業 内 容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

●役 員

2014年9月30日現在

代 表 取 締 役 社 長	松 田 年 真
常 務 取 締 役	齋 藤 善 敬
常 務 取 締 役	糸 永 和 広
取 締 役	鈴 木 一 人
取 締 役	松 本 隆 次 郎
取 締 役	向 山 敦 浩
取 締 役	中 谷 賢 史
取 締 役	井 上 憲 一
社 外 取 締 役	杉 山 一 統
常 勤 監 査 役	鈴 木 宏 典
常 勤 監 査 役	深 津 克 好
社 外 監 査 役	辻 慶 典
社 外 監 査 役	佐 藤 雅 秀

●主な子会社

〔国内生産会社〕			
(株)九州エフ・シー・シー		天龍産業(株)	
〔海外生産会社〕			
FCC (INDIANA), LLC.	〔米国〕	FCC (North Carolina), LLC.	〔米国〕
FCC (Adams), LLC.	〔米国〕	FCC (THAILAND) CO., LTD.	〔タイ〕
FCC (PHILIPPINES) CORP.	〔フィリピン〕	成都永華富士離合器有限公司	〔中国〕
上海中瑞・富士離合器有限公司	〔中国〕	FCC RICO LTD.	〔インド〕
PT. FCC INDONESIA	〔インドネシア〕	台灣富士離合器股份有限公司	〔台湾〕
FCC DO BRASIL LTDA.	〔ブラジル〕	佛山富士離合器有限公司	〔中国〕
FCC (VIETNAM) CO., LTD.	〔ベトナム〕	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, SA. DE CV.	〔メキシコ〕
〔持株会社・統括会社〕			
FCC (North America), INC.	〔米国〕	愛富士士(中国)投資有限公司	〔中国〕

●事業所所在地

本 社	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技 術 研 究 所	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
細 江 工 場	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
浜 北 工 場	〒434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
電 洋 工 場	〒438-0233 静岡県磐田市駒場6400番地1
天 竜 工 場	〒438-0202 静岡県磐田市高木1550番地1
鈴 鹿 工 場	〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町字桜台5421番地
東 京 営 業 所	〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1丁目1-5 金子ビル1F

●テレビCMのご案内



【放送時間帯】
静岡朝日テレビ
毎週水曜日
「グッド！モーニング」
6:00～6:30の間
「報道ステーション」
22:30～23:00の間

●株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：6月

剰余金の配当基準日：3月31日

中間配当を実施する場合 9月30日

単元株式数：100株

公告方法：電子公告により行います

ホームページアドレス：<http://www.fcc-net.co.jp/>

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲1丁目2番1号

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

【配当金計算書について】

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

●株主優待制度について

株主優待制度の内容

(1) 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2) 贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬



※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。

株式会社 エフ・シー・シー

本社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代) FAX(053)523-2405
<http://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。